

◎礼拝説教：2020年3月22日

◎説教者：中村準一 牧師

◎タイトル：神は唯一の拠り所

◎今日の聖書：詩篇46：1-3

1神はわれらの避け所また力である。悩める時のいと近き助けである。 2このゆえに、たとい地は変わり、山は海の真中に移るとも、われらは恐れない。 3たといその水は鳴りとどるき、あわだつとも、そのさわぎによって山は震え動くとも、われらは恐れない。

◎宣教

今回与えられた聖書箇所は、詩篇46:1-3です。詩篇46篇は、宗教改革のルターの愛唱の詩として有名で、賛美歌267「神はわが櫓」は宗教改革を推し進めたとされています。当時の彼は失意のどん底にあり、その過酷な現実のなかで、詩篇46篇の御言葉によって、不動の信仰、何物にも屈しない力を与えられたのです。1-3は、神は信仰者にとって、唯一の避け所、拠り所であることを如実に示している。：1「神はわれらの避け所、また力、そこにある助け」。それゆえ、いかなることが起ころうとも、私たちは「恐れない」：2と断言している。神が共におられるからです。では、恐れ、恐怖に駆られる者、身動き取れない者は信仰心が薄いのだろうか。いや、断じて違う。その心を「正直に、素直に」神の前に告白する者を、神は良しとするのです。：2,3の状況、それは私たちに2011年3月11日の三陸沖大地震と津波を、まさに思いおこさせます。また、現在のコロナウイルスによる目に見えない恐怖も、しかりです。私たちが恐れや恐怖から、祈りを通して、神にすがりつき救いを求めるとき、おのれの弱さをさらけ出す姿を、神は蔑まれない。絶対的な避け所、拠り所である神に全てを委ねすぎる時、私たちは神の声を聴き、神の力を認識し、神が私たちと共におられることを知るのです。私たちクリスチャンは、いつも共におられる救いの拠り所、避け所であるイエス様に全てを委ね、祈ることが必要です。そして、恐れ、恐怖で主にすぎる私たちを、イエス様は決して侮らないし、それを求めておられるのです。ハレルヤ